

(特活) ガルーダ・ジャパンコミュニティ

団体概要：日本に在住するインドネシアの方々に生活に必要な情報を提供するほか、諸問題の解決に向けた活動に取り組み、地域の中で安心して暮らせる環境づくりを目指す

事業名：在留外国人の生活環境改善推進事業

助成額：300,000 円

事業の実施内容

(1) 意識調査事業【官民合同調査】

- 内容：居住外国人の急な増加に伴う地域の状況を調査
- 協力機関者：畿央大学、熊本保健科学大学、神戸市
- ・5月19日神戸市福祉局くらし支援課、企画調整局産学連携課打ち合わせ
- ・7月20日市民児協常任理事会出席及び依頼（各区代表民生委員9名、市役所12名、大学1名、NPO1名）
- ・8月15日調査終了、集計及び分析（神戸市内全民生委員2,500人、大学4名、NPO1名）、
- ・11月10日報告及び意見交換会（大学2名、NPO4名）

(2) 友達づくり支援事業

- ①イベント名『初めての冬あったかフェア2023』
- 内容：初めて日本で冬を迎える人及び寒さへ不安のある方へ、冬服の無償譲渡および寒さに関する健康相談並びに交流と友達づくりの機会の提供
- 場所：こうべまちづくり会館3F多目的室
- ・11月19日開催延べ80名
- ②イベント名『“胃”文化交流フェア』
- 内容：食を通じての異文化交流会
- 場所：あすパーク
- ・8月19日開催延べ50名

(3) 子どもの日本語能力認定取得支援活動

- 内容：外国籍の子どもの初級レベルの早期取得
- ・4月14日打合せスタッフ4名
- ・5月19日打合せスタッフ4名
- ・6月16日第1回授業受講者2名スタッフ2名
- ・8月4日第2回授業受講者2名スタッフ1名
- ・8月18日打合せスタッフ3名
- ・9月15日第3回授業受講者1名スタッフ1名
- ・10月20日打合せスタッフ4名

(4) 差別改善事業

- 内容：在留外国人が不当に差別的扱いを受けることがないような取り組み
- ①学習グループのゲストとして交流
- ・9月26日灘区文化センター
- ②地域の支援団体との交流会
- ・4月22日つばめふれあい食堂
- ③他自治体の取り組み取材
- ・8月25日～26日養父市（NPO法人りとるめいと協力）
- ④個別インタビュー
- 7月25日三宮のカフェ、2月24日御影クラッセ

事業の成果

地域に対して在留外国人というものの関心を向けることができたことは大きな成果でした。もともと外国と仕事などで関係をしたことがある人と、これまでその機会がなかった人には、当然ながら考え方に違いがあるが、それが無関心になっていた現実が明確になり、今後の取り組みの基盤になるものことができました。

在留者においては、それぞれ置かれている環境の違いがあるなか、多くが日本でこれからも頑張っていきたいという真面目な気持ちをもっていることがわかったと同時に、改善していかなければならない課題も聴取することができたことは大きな成果となりました。

今後の課題

今回得られた課題を活動の基盤の一つとしてとらえ、今後に生かしていきたいと思えます。特に地域と在留者との接点機会があるような取り組みを軸に活動を進めていきたいと考えています。

この事業を通じて良かったことのエピソード

在留者を支援している団体との交流が深くなり、イベントにも沿っていただけるようになりました。また民間企業より、ムスリム雇用についての注意点など、HPをみて問い合わせを受けることがあり、社会的にも注目されている分野であると感じました。

寄付者へのメッセージ

日本が直面している社会問題の中で、これまで在留者に関する地域の声を拾う調査がなされていなく、それが実現できたことは大きな成果でした。

これからの活動の基盤となるこの度の調査において、ご寄付を活用させていただきました。誠にありがとうございました。

